

## 専修大学松戸幼稚園開園40周年を迎えて

本日の創立記念日（10月30日）に幼稚園40周年を慶事としてお祝いし、記念式典、園児の「学びの成果」を発表することにしていましたが、新型コロナウイルス禍に鑑み、中止することにいたしました。ご事情をご賢察の上ご理解いただきたく存じます。

専修大学松戸幼稚園は、昭和54年（1979年）に、学校法人専修大学松戸高等学校によって開設され、昨年、開園40周年を迎えました。本園は、昭和56年に33名の園児が第一期生として卒園して以来、40年間に2012人の園児が巣立っていきました。これもひとえに、創設者である「松戸高等学校第2代理事長 森口忠造先生」をはじめ、歴代の園長先生、園児、保護者、卒園者、教職員、地域の方々など、本園をお支えいただいたすべての皆様のおかげであります。法人を代表して心より御礼申し上げます。

本園は、母体である専修大学の建学の精神である社会に対する「報恩奉仕」を教育理念に掲げ、「心身共に健全で、豊かな人間性を育てることを目標として」開設しました。この教育理念の実現に向けて、遠足や運動会などの諸行事のほか、本園独自の試みとして、「ネイティブ教員による英会話」や、「言葉の教育を通じて徳性・情緒・感性を育むサントレ教育」を導入し、これが歴代の園長と先生方に引き継がれて現在に至っています。例年、入園式で、ご両親と離れて式場の椅子に座るという初めての経験のせいか、式場中に響きわたるような泣き声を上げる園児たちが、卒園式では、元気に返事をして、凜として卒園証を受け取り、力強い声で園歌を合唱するのを目の当たりにすると、健やかな成長と園児の伸びる力を実感します。わずかではありますが、教育理念を实践でき、親切で、健康で、表現力豊かな園児を送り出せたという想いにかられます。

本園は、40周年を記念して、記念誌を作成いたしました。この記念誌は、園児、保護者、教職員、お支えいただいた皆様の活躍の歩みを振り返りつつ、現在まで連綿と続いてきた歴史をご覧いただくことを意図して作成いたしました。これを機に、新たな本園の改革の第一歩として、現状に甘えることなく、「園児の学びの芽生えを育みつつ」、教育理念に即して、心身共に健全で、豊かな人間性を育てることをめざしてまいりますので、今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。

令和2年10月30日

学校法人専修大学松戸高等学校  
理事長 富山 尚徳